



- ・東部沿岸部の移転跡地利活用事業
- ・東部沿岸部回遊性向上への目標値の設定
- ・貞山運河の利活用と新浜橋架橋の再検討
- ⑨・県道塩釜亘理線・高砂橋付近の渋滞対策
- ⑩・沿岸部の将来人口推計と集落維持について

県道塩釜亘理線・高砂橋付近の渋滞対策

県道塩釜亘理線の高砂橋付近
時間帯により大渋滞が発生！

(現状と位置づけ)

- ・仙台港と仙台空港を結ぶ重要な物流路線
- ・蒲生地区が物流を支える地域
- ・東部沿岸部の回遊性向上にも支障
- ・周辺地域の方々の生活に支障

(これまでの対策)

- ①高砂橋南側の交差点に右折レーンを設置
- ②高砂橋北側の信号を調整



現在、交通量調査を実施し検証中！

沿岸部の将来人口推計と集落維持について

(意見) 市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域として都市計画法に定められておりますが、抑制し続けて集落が機能しなくなるのではないかと感じている。特に、立地適正化計画による公共交通を軸としたまちづくりにより、沿岸部の人口維持は期待できないし、このような郊外からコミュニティが衰退していく。

(質問) 10年後、20年後、30年後が心配。これから人口減少が加速いくうえで様々な課題が想定されますが、沿岸部の人口についてどう考えているのか、将来人口推計についての管理は小学校区毎のこと。例として宮城野区岡田小学校区について、仙台市全体の将来人口推計と比較した、現在から今後10年、20年、30年後の人口推移をお示しください。

(都市整備局) 仙台市と岡田地区の人口推移比較

単位：人

令和5年度時点	10年後(令和15年)		20年後(令和25年)		30年後(令和35年)		
	令和5年比	△0.4%	令和5年比	△3.3%	令和5年比	△7.3%	
仙台市全体	1,099,000	1,094,000	△0.4%	1,063,000	△3.3%	1,019,000	△7.3%
岡田小学校区	4,000	3,700	△6.9%	3,300	△16.1%	2,900	△26.5%

(意見) 数値を示して頂きましたが、団地を除けば人口減少の幅は大きくなると思いますし、沿岸部に行くほど、集落の機能低下が心配。町内会事の将来人口を示していただければ、重点的に支援しなければならない地域もみえてくるはず。是非、公共交通を軸としたまちづくりも大事でございますが、沿岸部の集落維持についても真剣に検討して頂くことをお願い申し上げます。

市政報告

仙台市議会議員 **田村 勝**

令和6年3月発行 VOL 28
発行：田村勝事務所
事務所：仙台市宮城野区福田町1-9-10
電話番号：090-2275-3540
メール：mas.tamura@icloud.com

仙台市議会 第1回定例会が3月14日に閉会しました。新年度の予算審査においては、宮城野区東部沿岸部の取組みと市街化調整区域における課題、新年度からの仙台市の目玉事業、仙台市流域治水モデルとして福田町エリアが選定された件につき期待を込めて議論をしております。

また、今議会中に「市内病院を含む4病院再編構想に関する件」、「パレスチナ自治区・ガザ地区における平和の早期実現に関する件」が決議されました。

【市議会の決議って何?】議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のこと。決議の形式でなされる議会の意思表明は、当該地方公共団体の公益に関する限り可能と考えられており、極めて広範な問題をとりあげることが可能です。



本会議 一般質問【2月20日】

- ①花粉症ゼロシティを目指すべき
- ・第五次地震被害想定調査結果への対応
- ・津波避難広報の改善
- ・トイレトレーラーの導入
- ・高齢者や障がい者に対応した津波避難訓練



杜の都仙台、花粉ゼロシティを目指すべき！

(質問) 杜の都を掲げる本市、花粉ゼロシティを目指すべきだと考えます。

(経済局) 年度内に森林整備計画を改定し、杉等の人工林の伐採、植え替えの促進等について位置づけ、宮城県や林業事業者等と、密に連携を図りながら、飛散する花粉が少なくするよう、花粉症対策に計画的に取り組んで参ります。



(質問) 花粉は無風の場合、毎秒2、3センチで落ちていき、風があっても飛ぶ距離はおよそ数十キロと言われているため、市内での取組でかなり軽減できるはず。建設局は道路の街路樹を含めて、公園など身近なところに樹木を抱えております。これらの花粉症対策について伺います。

(建設局) 公園や街路樹においては、花粉症の原因となる杉や檜を植栽することはございませんが、都市周辺の緑地の一部では杉林や檜林となっていることがあります。今後、分布状況を把握し、関係局と連携をしながら対応し検討してまいります。

仙台市的人工林面積 約8,400ha

そのうち、

花粉症発生原因、杉人工林
約6,000ha

都市周辺の緑地の一部
植栽状況不明

今後の花粉症対策

- ・年度内に森林整備計画を改定
- ・人工林の伐採、植え替え促進
- ・県や林業事業者と連携

- ・分布状況の把握に努める

同じ政令指定都市 福岡市の花粉症対策

- ・農林業総合計画に明記済み
- ・杉、檜の伐採、利用を推進
- ・広葉樹への植え替えを3万本実施

福田町(野・福住町・仙石)エリアが「仙台市流域治水モデル地区」に指定!

今後、治水の先行事例となる組織横断的な取組みの実践と実証が行われます！

このエリアにおいて、様々な事例の試行や効果検証等が新年度（4月～）より複数年をかけて実施されることになります。国の進める流域治水の先進事例として積極的に発信し、市内他地区や他自治体への展開に向けたモデルケースを目指します。

＜流域治水とは＞

- ・気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、対策をより一層加速とともに、集水域から氾濫域にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方。
 - ・治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域としてとらえ、地域の特性に応じ、
①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進めます。

初年度事業内容	予算額（千円）
田子排水機場の増強	
防災マップの作成	58,857
SNSによる被害情報収集	
水車堀の水路狭窄部拡幅	
田んぼダムの取組み	8,883
水位標の設置	3,000
既存住宅からの流水抑制対策	550
排水ポンプ車	1,350
水車堀の水路嵩上げ	11,000
ICTを利用した水位情報活用	6,073
初年度予算計	89,717



予算審査等特別委員会 下水道事業予算 【3月8日】

- ・水害常習地域に対する抜本的対策
 - ・流域治水モデル地区選定理由
 - ・田んぼダムの抑制効果
 - ・既存住宅の流水抑制対策
 - ・計画中の小鶴雨水ポンプ場との関係
 - ・福田町駅移設との関係
 - ・デジタル技術の利活用
 - ・他都市の参考になるような事業を期待
 - ・流域治水事業の今後の方向性



「国土地理院電子国土 WEB を加工して作成」

福室地区(鴨・高砂)の冠水対策 令和9年度の稼動を目指し西原雨水ポンプ場の増設工事も順調!

この地域は東日本大震災に伴う地盤沈下と土地区画整理事業等による都市化の進展から、更なる浸水被害の発生が懸念されるため、浸水対策として整備した雨水ポンプ場の排水ポンプを増設し、浸水被害を軽減します。



西原雨水ポンプ場整備予定